

桐生西ロータークラブ週報



Rotary

2022-23年度RIテーマ **ジェニファー E. ジョーンズ** 副会長
イマジンローター IMAGINE ROTARY

例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市広沢町1-2689 日本料理うおせん
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp TEL 0277-47-7061
 URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi FAX 0277-47-7062
 会長 東郷 学 公共イメージ委員長 栗原秀一 クラブ会報・雑誌担当 小林 聡
 幹事 池末晋介 公共イマジン委員 金子福松、羽鳥 隆、下井田秀一 (歴史編集IT-CIC担当)

No. 2255

2022年10月14日発行

第2385例会 (2022・10・7) 報告

- | | |
|---------------------|-----------------------------------|
| 1. 点鐘 | 7. 幹事報告 |
| 2. 国歌 静聴 | 8. 委員会報告 |
| 3. 来訪者紹介 | 9. 卓話「地域社会の経済発展月間に因んで」
浦野 幸子 君 |
| 4. 米山奨学金贈呈 | |
| 5. 出席100%表彰・誕生祝・結婚祝 | 10. 点鐘 |
| 6. 会長報告 | 例会終了後、定例理事会開催 |

◆ビジター 米山奨学生 ダオ スアントゥン 君

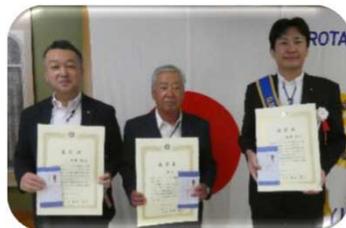
◆米山奨学金贈呈

米山奨学生
ダオ スアントゥン 君



◆出席100%表彰

塚本 貢 君(22年)
高森 勉 君(18年)
東郷 学 君(11年)



◆誕生祝

中里 和子 君
野田 真一郎 君
奈良 真理子 君
田崎 武夫 君



◆結婚祝



須田 朗 君 塚本 貢 君
霜村 年勇 君

松島 共由 君

◆会長報告

東郷会長

会長報告の前に、一点皆様にお知らせがございます。昨日、桐生市農林振興課より職員の方が、桐生西RCが創立20周年時に寄贈した桐生地方卸売市場内にある「交通安全の広告塔」を(市が)撤去するご相談にいらっしやいました。歴史ある物ですので、定例理事会にて審議する前に皆様にご報告させていただきます。

- 10月2日(日)前橋問屋センター会館にて米山カウンセラー研修会が開催され前原副会長が参加されました。同日午後には米山記念奨学セミナーがあり、江原担当と私の2名が参加して参りました。その席で、桐生西RACのハニフ会長が米山奨学生代表としてスピーチされた様子をクラブのLINEグループでご覧頂けます。
- 次週14日は「中野正美ガバナー公式訪問」の予定となっています。当日の到着希望時間を12:20としてガバナー事務所へ届出しております。中野ガバナー、山崎ガバナー補佐、大塩孝地区副幹事の3名がご来訪の予定となっております。尚、ガバナースピーチが25分程度行われる予定ですので、これまでの短縮例会より時間を多くみて下さい。お弁当はこれまで通り持帰りです。例会後のクラブ協議会には、ガバナー補佐訪問時のクラブ協議会参加者に加えて、新入会員の参加も求められておりますので、出席該当者へは改めてメールとFAXにてご案内させていただきます。

◆幹事報告

池末幹事

- ◇例会変更のお知らせ
- | | |
|--------|---|
| 桐生RC | 10/10 (休) 10/24 (23日に振替) 10/31 (休) |
| 桐生赤城RC | 10/11 (9日に変更) |
| 桐生南RC | 10/12 (職場訪問例会 10/19 (夜間例会) 10/26 (23日に振替) |

他11RCより

桐生西ロータリークラブ

◇クラブ会報が到着しています

桐生RC 9/26
桐生南RC 9/7・14
桐生赤城RC 9/20・25

◇下記のものが届いております

- ・桐生商工会議所より「桐生商工だより10月 808号」が届いております
- ・「ガバナー月信10月号」が届いております。
- ・「ロータリーの友 10月号」をお配り致しました。
- ・10月 ローターレイト145円 となります。
- ・本日例会終了後に、定例理事会を開催致します。

●クラブ運営委員会

◇出席報告

青山桃子出席担当

会員総数53名(出席免除者11名の内、5名が出席の為)
出席率対象者47名、出席率対象者出席人数37名
欠席者10名(内前メイク2名) 最終欠席者8名
出席率 82.98% (前々例会修正出席率 78.43%)

●拠金委員会

◇ニコニコBOX

早川ニコニコBOX担当

10月8日(明日)は午後1:30から笠懸鹿のひまわり畑で武技が実演されます。見に来て下さい。 家住君
船戸君、里芋・カボチャ・生姜、旨かった。ありがとう。 江原君

浦野さん、卓話楽しみです。

天沼君、高森君、小林(恵)君、野村君、中島君
結婚祝いをいただき 塚本君
結婚祝いいいただき、ありがとうございます。 霜村君
リサイクル募金で協力ありがとうございます 船戸君
一気に寒いですね 浦野君
野村さん、小林さん、今泉さん、加藤さん
ありがとうございました 松島君

◇ロータリー財団

中里ロータリー財団担当

浦野さん、卓話よろしく申し上げます
小林(恵)君、乾君、江原君、船戸君
結婚祝いいいただき、ありがとうございます。 霜村君
出席100%をいただき 塚本君
プーチン嫌いです 野村君
銀座トラヤで帽子を買って来ました 家住君

◇米山奨学

越塚拠金委員長

結婚祝いいいただきありがとうございます 霜村君
浦野さん卓話楽しみです 塚本君、井本君
昨日、今朝は暖房を使いました。 乾君
松島さん、お出迎え恐縮です 小林(恵)君
新橋高島屋へ林茂樹展を観て参りました。 家住君
『毎日がいと楽し』 野村君
いつも動きまわっていて忙しいです 船戸君

ガバナー補佐 講話 (続き)



RI第2840地区

第2分区Aガバナー補佐

山崎 倫義 様

RI会長、中野ガバナーをはじめ、国際ロータリーや地区の方針については東郷会長より色々お話していると思いますので割愛させていただきます。まずこれからある年内の地区の行事日程をお話させていただきます。

9月25日にパート1が終了しているRLIセミナーが10月16日パート2そして11月27日パート3と変更なく前橋商工会議所でおこなわれます。対象者は各クラブ、会長エレクト、幹事予定者です。余談ではありますが、来年度ガバナー補佐条件の1つにRLIセミナーを全て受けていることとの条件が付いていました。私は全部受けていないので次年度だったら資格がなく、推薦の対象にはならなかった訳です。

10月2日に米山記念奨学生カウンセラーセミナー、地区米山研修セミナーを前橋問屋町センター会館で行われ、10月22日は地区大会の前日地区リーダーシップセミナーが太田市にあるティアラグリーンパレスで行われ、夜はRI会長代理歓迎晩餐会と変更なく行われます。会長幹事さんが義務出席となっております。

そして23日は地区大会となり、佐倉中央ロータリークラブに所属する橋岡RI会長代理が来られ(職業は能楽シテ方橋岡家9世)、8時50分から登録開始、16時50分点鐘の予定となり大懇親会は中止となりました。

11月6日にR財団補助金管理セミナーが前橋問屋町センター会館で行われ、12月は3日に米山忘年会、17日には保坂ガバナーエレクト壮行会がロイヤルチェスター前橋で行われる予定です。

以上が年内予定の地区行事です。参加される方はよろしくお願いたします。

先日参加しました会員組織強化委員会の資料に地区別の出席報告、新会員入会実績等が出ていまして、当第2分区Aは現在非常に良い結果となっていました。

女性会員の割合も多く、やはりどのクラブの話聞いても女性会員がおりますと良い発想が出て、クラブ自体が強くなります。

ここ桐生西ロータリークラブは全てにおいて順調に進んでいるようにお見受けします。地区重点項目も次々とクリアしているようですし、中野ガバナーも安心して来られると思っています。

今桐生でも新型コロナ感染症が続いています。これから先もコロナと向き合いながらの生活、ロータリー活動となるのは必至です。今年度地区運営は、会員必携にも出ていますが、WEBを使ったMEETINGも利用されると思います。しかしやはり基本は対面して顔を見て話をする事です。重要性は皆さんが理解している通りで、情報量からして何倍も違ってきます。

(株) 新 宇 商 店

取締役 新井 みゆき
みどり市大間々町桐原472
TEL0277-73-3366

桐生西ロータリークラブ

きっちりとした感染対策をしながら可能な限り対面でいろいろ企画を行うということです。地区でのセミナー等もきちんと行われています。我々も感染対策をしっかり行い、出来る活動はやっていきましょう。

2週間後は中野ガバナーの公式訪問があり、講話もありますので楽しみにしてください。

今日例会後、協議会を行いクラブの課題、目標の進捗状況、地区に対する質問等しっかり話し合います。

来週のガバナーとの協議会は会員全体の出席を推奨しています。出られる方はぜひ出席して色々わからないことを質問してみたいかたがでしょうか。宜しくお願いします。

ご清聴ありがとうございました。

◆会員卓話「地域社会の経済発展月間に因んで」

浦野 幸子 君

貴重なお時間をいただきます。よろしくお祈りします。自分の未熟な53年をざっとお話しできたらと思います。



福島県いわき市平生生まれ、毎日夏は海へ出かけそのまま帰ってくる。朝練バスケット、昼練バスケット、夕方バスケットの小中高校。食べるのが早いのはこのせいです。バスケットで培った悔しがりやが今は功を奏していますが、それに疲れる自分もいました。でも努力は実るということだけは信じているようです。

親の教えがひどく残っているのは、

1. 約束は守る。
2. 何でも頼まれたらやる。
3. 先に嫌なことを片付ければ気分がいいからさっさとやる。
4. 人に迷惑をかけない。
5. 世界に羽ばたけ。

の5点が強く印象にあります。片親でほぼ育った幼少期はほとんど授業参観やバスケット観戦に母親が仕事でくることはありませんでした。

よく社員で家庭との両立で悩む子がありますが、一生懸命働いていて疲れている親の姿を見てちゃんと育つよと、励ましています。当時の部活は水も飲まず365日やるのが普通でした。あの夏の塩をふく体をいやすのにいち早く水飲み場に行くも、先輩が先で後ろで「早く飲め！」と思い待ち続けていました。だから自分はそんな気持ちにさせないように、次の人のために早く飲もうと思いました。バスケットシューズも布製からエアジョーダンに代わる時、母親に欲しいというので悩むので我慢して言わなかったです。意外に、本音をずばずば言いそうですが言えないということをご理解ください。

小学生時代、当時は特別支援学校の類の子たちが普通の学級にいました。でもいつもその同級生は私を慕ってきました。そんな自分はいつしか、人の喜んでくれるのが好きなんだと思いました。笑わせるのも得意でした。小学生の時のあだ名は「ペヤング、おい四角い顔！」でよく男子と遊んでました。- 3 -

今思うとあの男子は私を好きだったのかしら？と思います。

中学時代は、部活に明け暮れ、恋する暇もなく、高校は女子高でした。スカートの中にはズボンをはき、まあなんとだらしなない高校生活。男性が居たらもっときちんとしてたのに。授業中は「花のアスカ組」「ガラスの仮面」などを読みあさり、ダメということをするをしてみました。美術クラブに入り油絵もしていたのですが、意外に美術感覚もありませんでした。こんなチビでも県の選抜メンバーになりプロバスケットも夢に見た時代もありました。しかし、そんな甘くもなく医療の道に進むことを決め偏差値底辺から60代を目指し猛勉強。国立しか行けない家庭環境で看護師の道を選び進んでいる矢先に今の理学療法士という仕事をNHKで見てスカートをはくナースより、ズボンのこっちの体育会系の方が向いていると急転向。仙台の国立のリハビリの学校へ入学し私の第二の人生のスタートです。この仙台の3年間で私のこの社交性は、更に完全なものとなります。月2万の学費と寮生活。親孝行しているな〜と、自負しますが、バイトで10万稼ぐも全てディスコに費やし、スナックでバイトの時間は、今いるロータリーの方々みたいな年齢の方への御接待。ヘネシー、シーバスリーガルと高級なお酒を毎晩空けさせられ、肝臓も鍛えました。人気ナンバーワンの源氏名「なみちゃん」は、そこで多様な年代の方々の会話術を覚えました。

さて就職となり、いわき市の病院に戻る訳ですが、やはり大きな病院で決まりきったことの繰り返しにつまらなさを感じ、また仙台へと戻り、東北大学の高度先進医療を行うクリニックに就職し、そこで今度は海外の方、自由診療で全国のお金持ちの障害を持つ方々との親交は生まれます。仕事のあとは、毎日大学へ行き解剖をして勉強。医学部、工学部の学生と共同研究。まあ、モチ期第二期の到来です。ちなみに第一期は高校時代男子校の前の食堂でバイトしてたのでそこです。韓国の李なんとかという医師に告白され嫁にいくかもでしたが、行っていたら今ここにはいません。このクリニックで知り合ったのが主人です。21歳でバイク事故を起こし23歳の時にこの高度先進医療を受け入院してきました。私が担当で一、二、と訓練をしている間に恋心が芽生えたのです。以前から車いすだろうがなんだろうが人にしか興味のない私は違和感なくこの人と結婚するだろうかと、なんか予想できました。車いすよりも先に人が見えるそんな感触です。親に紹介し反対は避けられないと思いましたが、やはり反対で「何であえて苦労の道を行くのだと言われました。」反論は、車いすの人と結婚すると苦労するということは、体が普通の人と結婚したら絶対に幸せなのか？でした。ただこんなに心配する親をみて絶対に親が悲しむような生活はできないとも思いました。しかし、なんの躊躇もなく結婚し群馬にきてしまいました。この縁が群馬を荒らすこととなったのです。25歳で嫁いで恵愛堂病院にお世話になり、結婚式にも出席いただきました東郷先生には大変お世話になりました。20歳代の私は本当に切れキャラでした。「なんでできないの?」「なんでこうなるの」と何かあるとすぐ人にとっついていました。泣きながら仕事してました。

桐生西ロータリークラブ

人に嫌われるというのではなく、人に理解されないと吠えている意味がないと、なんとなし、学習しました。しかし、私は囲いの中の鳥でいられず31歳で起業するわけとなりました。自分を活かす=人が喜んでいただく・笑顔が出る なのでしょう。

30歳代はまさに立ち上げとともに向こう見ずに社員と一緒に動き、今思えばワークライフバランスなんてない！みたいな勢いでした。自分の若き時代は見て覚えろ、できなきゃこうだぞ！とそんなことが普通でした。しかし、自分とまるで同じ感触の人はいません。社員が退職するたびに理由は聞くものの納得できないこともありましたが、だんだんそれが普通に聞こえ、そうか、お客様と従業員どちらも「いい感じ」で満足しないと上手く成り立たないということに考えが集結し、その「いい感じ」を追求していることとなります。従業員満足に片よるとご利用者様のサービスに影響する。逆は従業員満足度が減るとい現象が起こりえます。個性もたいてい35歳も過ぎれば変わる訳はありませんので、方法論を変えて上手くいくようにします。よくモチベーションと言いますが、動機がなければモチベーションは上がりません。動機は考え方ひとつで変わることもありますし、条件設定で変わることもあります。社員が何を求めているのか、個々の求めを全て解決はできませんが、うまくそこをインクルージョンですかね、ロータリーで言う。させると、全体が良くなるという考えに及んできました。20歳代に比べればなんて丸くなり過ぎたのだろうと思っています。

そして現在、14拠点300名の社員に担がれて社長業を行っておりますが、ともすると、年々、孤独になる立場ではありますがこのRCに入会し同じ立場の方々には心を救われることが沢山あります。そして自分の仕事の根幹である人のために何かできないかという主旨はロータリーと同じであります。そんな初心に帰る場としても自分にとって非常に財産になる場でもあります。自分は会社の一番トップで何かしら社員は気を使って話をしてくれます。ということは、自分を成長させるのは自分しかおらず、結局自分のちっぽけな考えの中から脱出できません。ですからこういう場でいろいろな方々の見識を学び、このロータリーという組織の中で我慢や交渉、気遣い、マナーなどいろいろなことを学んでいることが自分の成長へつながる=会社の成長に寄与するのだと考えています。他に自分を怒ってくれる人もいない孤高の環境です。いい意味で怒られるとハッとすることが多く、その何が根拠に指摘されているかを考えることが見識の広がりだと思っています。自分が立ち止まっていることが大嫌いで、もっとより高く、より遠く、より早く、より良くと考えるたちなので本当にいい出会いをくださいました。入会時に三日三晩とは言いませんが、かなりプッシュしてくれた正田さんにはそういう意味で感謝です。

今年53歳になる私ですが、人生第二ステージだと思っています。まだまだ実はやりたいことがたくさんありまして、会社にしろ、自分自身そのステージに上られるよう努力邁進中です。自分の夢もありますが、最後はやはり平和で誰もが安心の社会づくりへと考えは広がります。それは一人では叶えられないことです。だからまずは自分がそのステージに上がることで更に人と出会い、人の活力を浴び何かが創造できるのだと考えます。ただ言っているだけ

では恰好が悪いので頑張る次第です。平和で笑顔の絶えない社会づくりは、ロータリーと同じ。そこもリンクしあいながら少しずつ、叶えていきたいです。桐生西RCに本当に入会して良かったと思います。これからも学ばせていただきながら、一緒に歳を重ねて行かせてほしいです。

「地域社会の経済発展について」

ロータリーには7つの重点分野があり、その中に地域社会の経済発展というものがあります。国際ロータリーHPによるとこれまでロータリー財団で授与した補助金2900万ドル、十分な食べ物がない人世界で9人に1人、7.95億人。飢えに苦しむ人のうち女性と少女が占める割合60%、極度の貧困者のうち僻地に住み生活の糧を農業に依存している人70%というデータがありました。

地域社会というキーワードを鑑みるとまず第一にニーズを調べるということが重要と記載がありました。また地域社会の経済発展の目的や目標には、地元のリーダー、団体、ネットワーク能力の向上、起業家、ソーシャルビジネスなどの能力向上、自然災害に対する地域社会の回復力や適応力など様々な目的があります。そのロータリーの取り組みは貧困と結び付けた活動がロータリーでは紹介されていました。例えばあるRCが小口の融資プロジェクトを立ち上げ起業に寄与する活動や洪水救援プロジェクト、消防車の寄付、貧しい子たちに洋服を送る、子女にナプキンを送るなど様々で参考になります。

ところで我々の本境地桐生市の課題、現在11万人いる桐生市人口が2045年には67,000人と推計が出ています。課題には生活が不便になる、移動コストの上昇で家計の支出が増える、地域内の自助、共助ができなくなる。コミュニティーの欠如、治安や景観の悪化など様々書かれています。何等か今から手立てを講じなければそのようなものが来るはず。自分の会社は介護業界ではあり、群馬県のHPに高齢者虐待件数が報告されており、無知識がそうさせることもあり、教育というものが非常に重要であると感じています。また子供への虐待件数報告もあり母親が一番で暴言、脅しなどが多数。なんと心の痛む話でしょう。我々がそこに尽力できることは何かしらあると考えます。

ご清聴ありがとうございました。

理事会報告 10月7日

1. 10/15以降、警戒レベルが「1」に下がった場合、通常例会へ戻す事となった。
2. 国道50号沿いの看板撤去お承認。後日、会員で看板を見て過去を学ぶ機会を設けるという意見が上がった。
3. 「青森県大雨災害支援金」会員より集まった32,500円を送金した。
4. 「マイロータリー」は、公共イメージ委員と事務局で登録100%を目標とする方向となった。

《 次 例 会 予 告 》

10月21日(金) 休会

10月28日(金) 通常例会 12:30点鐘